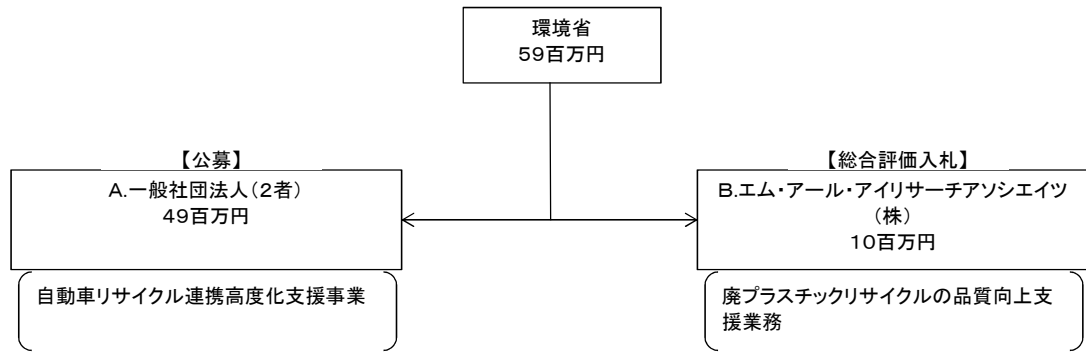


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	循環型社会づくりビジネス支援事業		担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度～		担当課室	企画課リサイクル推進室		室長 庄子 真憲		
会計区分	一般会計		政策・施策名	4. 廃棄物リサイクル対策の推進 4-2 各種リサイクル法の円滑な施行によるリサイクル等の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	循環型社会形成推進基本法		関係する計画、通知等	循環型社会形成推進基本計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	個別リサイクル法の制定等により我が国の循環利用量は着実に増加してきたが、循環利用がなされないまま焼却・埋立処分されたり、海外に流出している未利用循環資源が、依然として多く存在している。これらの資源を国内で有効利用することができれば、循環型社会の構築に大きく寄与するものと期待される。未利用循環資源を今後一層活用していくためには、社会全体の負担軽減の観点からも、法制度を導入して特定の循環利用を推進するという従来のアプローチに加え、現行制度下でも民間ビジネスとして成立し得る様々な循環利用の導入普及を支援していく必要がある。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	民間事業者単独の取組では、必要とする循環資源を回収・再利用するシステムを組むことが困難であったり、経済性や技術面での市場ニーズの検証が十分できないなどの理由で、事業化に至らない循環利用について、その事業化に向けた実証支援を行うことにより、新たな循環ビジネスの確立と、国内の他の事業者への普及を通じた循環ビジネス全体の底上げを図る。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	220	180	71	42	-	
		補正予算	0	0	0	0	-	
		繰越し等	0	0	0	0	-	
	計		220	180	71	42	-	
執行額		207	156	59	-	-		
執行率 (%)		94	87	83	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	循環型社会ビジネスの市場規模を平成12年度比で約2倍にすることを目標とする。			成果実績				
				達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	支援事業実施数			活動実績 (当初見込み)	12 (12)	17 (16)	3 (12)	- (3)
単位当たりコスト	20 (百万円/件)			算出根拠	執行額/支援事業実施数			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	42	-	事業の廃止				
	計	42	-					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
必要 性の 投入	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	民間事業者単独の取組では事業化に至らない循環利用について、循環ビジネス全体の底上げを図るために、その事業化に向けた実証支援を行うものであり、国において実施する必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業 の 効率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	廃プラスチックリサイクルの品質向上支援業務については、競争入札により、競争性を確保している。また、随時に業務の進捗状況を把握し、必要に応じて指示を行った。 自動車リサイクル連携高度化支援事業については、公募を行い、外部有識者から成る評価検討会での審査を経て支出先を選定した。また、支出先からの見積書についても入手し、適切な内容・用途であることを確認している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—				
事業 の有 効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	民間事業者単独の取組では事業化に至らない循環利用について実証支援を行うものであり、その結果、事業化が進み、循環ビジネス全体の底上げが図られる。活動実績について当初見込みより少ないが、予算の組替えがあったためである。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 結 果	民間事業者単独の取組では事業化に至らない循環利用について、循環ビジネス全体の底上げを図るために、その事業化に向けた実証支援を行うものである。 引き続き、事業を重点化しつつ、競争性のある契約方式で支出先を選定するとともに、進捗状況を的確に把握することにより、効率的な実施に努める。					
外部有識者の所見						
22～23年度は活動実績が12～17件、24年度は3件と大幅に減少しているが、22～23年度に実施した事業は実用化が図られたか、または目途がたったのか。明らかにする必要がある。これらの事業を国が支援することも理解できるが、国が支援する事業範囲を含め、将来の支援計画を明らかにする必要がある。						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業 全体 改善 の 本 格 的	国が支援する事業範囲を含め、将来の支援計画を明らかにするとともに、事業内容を抜本的に見直すこと。					
	所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
廃 止	事業内容を抜本的に見直すこととし、当該事業は廃止とする。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	103,105,106	平成23年	096	平成24年	095

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

A.一般社団法人日本ELVリサイクル機構					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	人件費	6			
旅費	事業実行委員会、検討会 旅費	3			
分析費	分析費	4			
外注費	実証事業実施費(13カ所)等	13			
借料	事業実行委員会 会場借料	1			
一般管理費		2			
計		29	計		0
B.エム・アール・アイリサーチアソシエイツ(株)					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	10			
計		10	計		0
C.					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般社団法人日本ELVリサイクル機構	使用済自動車に含まれる貴金属・レアアース磁石の効率的な回収・リサイクルに関する実証事業	29	公募	—
2	一般社団法人日本自動車リサイクル部品協議会	自動車リユース部品の利用促進のための「共創型グリーンポイントセンター」の構築に関する実証事業	20	公募	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	エム・アール・アイリサーチアソシエイツ(株)	廃プラスチックリサイクルの品質向上支援業務	10	2	86%